

航空交通管理センター(航空交通管理管制業務)



航空交通管理センター(ATMセンター)は、ICAOの新CNS/ATM構想に基づく航空交通管理(ATM)をわが国において着実かつ効果的に推進するため、ATMの主導的な役割を担う中核組織として2005年に設立された。

ATMセンターは、空域の有効利用を図る空域管理、交通量の調整等により円滑な航空交通を形成する航空交通流管理及び新技術を活用した管制業務を総合的に連携して、航空交通の安全確保と航空交通容量の拡大を図るもので、今後も中長期的な機能向上が計画されている。

航空交通管理管制業務概要

- ・飛行経路調整
- ・交通流制御



◆ 航空交通流管理(ATFM)

空域ユーザーとの協調を図りながら、飛行経路に係る調整や交通流制御を実施し、運航に対する必要最小限の制約により、交通需要と空域容量とのバランスを図る。

- ◆ 安全性の向上
- ◆ 運航効率の向上
- ◆ 空域の有効利用

- ・洋上管制
- ・交通流調整



◆ 洋上管理(Oceanic ATM)

ADS-C/CPDLC等のCNS技術を活用した洋上管制を実施し、空域容量の拡大を図るとともに、最適な洋上飛行経路の設定、交通流の調整により運航効率の向上を図る。

◆ 空域管理(ASM)

空域ユーザーのニーズに適合する各種空域の最適化、効率的な飛行経路の設定、空域の柔軟な使用のための調整などを実施し、空域容量の確保と空域の有効利用を図る。

- ・空域/航空路設計
- ・空域使用調整
- ・洋上可変経路設定

